



Top Message



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2020年3月31日をもって、第72期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

英 裕治

Hanabusa Yuji

当期業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり緩やかに回復しておりました。

世界経済は全体としては緩やかに回復していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大に伴う経済活動への影響から、先行きは不透明な状況です。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうち高級オーディオ機器事業は、日本発のNo. 1ハイエンドブランドとしての位置づけを国内外で高める努力を継続し、一般オーディオ機器事業は、中高級機を軸に据え、競合他社に比べ個性的な製品を創造し、更なる収益力向上を目指してまいりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器事業では、設備市場においてより広範囲なアプリケーションへ対応するべく製品ラインナップを更に拡充いたしました。

情報機器事業においては、医用画像記録再生機器並びに計測機器は前期に引続き海外市場への参入を進めてまいりました。また、新製品の機内エンターテインメント用サーバーの販売を強化いたしました。

当連結会計年度におきましては、為替相場の変動の影響、新型コロナウイルスの影響等もあり売上収益は減少しました。

前期には介護記録システム事業譲渡益があったことから営業利益については減益となりました。

この結果、当社グループの連結会計年度の売上収益は147億4千5百万円(前期比6.0%減)、営業利益は2億8千6百万円(前期比52.4%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益2千7百万円(前期比47.0%減)となりました。

配当につきましては、業績に基づいた成果の配分を前提に、連結業績も勘案し、財政状態、事業展開、経営環境を総合的に捉え、安定配当の維持を目指すことを基本方針としております。また企業競争力の維持、強化を目的とした研究開発投資や設備投資等による将来の経営基盤強化と事業拡大のため、内部留保に努めてまいります。当期は未だ十分な内部保留に至っておりませんので、当期も無配やむなきに至りました。株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

次期の業績見通しについて

次期は堅調に成長しつつあるアジア市場、特に中国市場での成長加速を目指した取組みを積極的に進めます。

音響機器事業のうち高級オーディオ機器および一般オーディオ機器については、当期に中国市場で好評を博した商品ラインナップの拡充に、現地デジタルマーケティング強化によるブランド認知度向上を図ることで、成長を加速します。音楽制作・業務用オーディオ機器は、当期にアジア市場の代理店網再編を概ね終えたことで、現地拡販への準備が整いました。

また、当期に導入した好調なビデオストリーミング機器やレコーディングミキサーの通年貢献が次期には見込め、更にユニークな機器・ソリューションの上市を計画していることから、BtoB、BtoCともに、成長を見込みます。

情報機器事業においては、機内エンターテインメント機器、医用画像記録再生機器、計測機器それぞれの、アジア市場を含む海外市場での更なる成長が、一部海外子会社にて販売を継続している産業用光ディスクドライブの売上逓減を補うことで、成長を見込みます。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、多様な産業や消費活動に大きな影響を及ぼす事が予想されます。このような状況の中で次期の業績を合理的に算定することが困難な事から2021年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年3月

連結業績ハイライト (国際会計基準)

	第70期 2018年3月期	第71期 2019年3月期	第72期 2020年3月期
売上収益 (百万円)	17,016	15,682	14,745
営業利益 (百万円)	330	601	286
税引前当期利益 (百万円)	324	291	69
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	249	51	27
基本的1株当たり当期利益 (円)	0.86	1.77	0.94
資産合計 (百万円)	10,285	9,316	9,540
資本合計 (百万円)	911	1,320	1,417

音響機器事業

63.6%

売上収益 9,370 百万円
(前期比 9.8%減)

セグメント営業利益 868 百万円
(前期比 21.1%減)

高級オーディオ機器（ESOTERICブランド）は8月に上市したSACDプレーヤーの一体型フラッグシップモデルや2月に上市した同カテゴリーの中核機種の販売は計画以上の推移となり利益率も更に改善いたしました。他カテゴリーの売り上げ減少と香港の民主化デモや中国のコロナ禍の初期対応の影響で地域の輸出が減少し僅かながらの減収減益となりました。

一般オーディオ機器（TEACブランド）も、更なる中高級価格帯でハイレゾ関連製品のリファレンス・カテゴリーや録音機関連のフルサイズ・コンポ・カテゴリーへのシフト強化で利益率は大きく改善しましたが、欧米向けの輸出やOEMが低調に推移したため、全体として減収となり、引き続き固定費の削減に努めわずかな減益に留めました。

音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）は、BtoC事業において、欧米を中心にハンドヘルドレコーダーやオーディオインターフェースなどが全般的に低調となりましたが、注力しているBtoB事業においては、新製品のライブレコーディングミキサーやブルーレイプレーヤーの販売が堅調に推移し、前期から成長いたしました。

また、第3四半期連結会計期間に続き第4四半期連結会計期間におきましてもBtoC製品の在庫回転を促進するための販売プロモーションを積極展開いたしました。利益率の高いBtoB製品の売上比率が向上したため売上総利益率は改善しました。

第4四半期連結会計期間には新型コロナウイルスの影響によりライブハウスや商業施設向けの新規案件が客先都合により一時凍結されるなどの事態が複数発生いたしました。また、中国工場の稼働遅れから供給不足による受注残も発生いたしました。この結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体としては減収減益となりました。

- 高級オーディオ機器
- 一般オーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC TEAC TASCAM

情報機器事業

32.2%

売上収益 4,754 百万円
(前期比 7.8%増)

セグメント営業利益 455 百万円
(前期比 53.4%増)

航空機搭載記録再生機器は、海外顧客への出荷が好調に推移、また新製品の機内エンターテインメント用サーバーも、新型コロナウイルスの影響による受注減はあったものの、国内エアラインへの販売により、前期比で増収となりました。

計測機器は、データレコーダー関連では既存製品の鉄道関連での需要増に加え、新製品のデータロガーの販売が好調に推移しました。センサー関連は大手半導体製造装置メーカー各社への販売が好調に推移したことから、計測機器全体としては増収となりました。

医用画像記録再生機器は、消化器内視鏡向けレコーダーは国内のクリニック向けの販売が好調に推移、また手術画像用レコーダーも国内外で好調を維持、特に南米市場の開拓が進行したことから、第4四半期においては医療現場における新型コロナウイルス対応優先による影響を受けたものの、医用画像記録再生機器全体では増収を確保する事ができました。

ソリューションビジネスは、Windows7サポート終了によるPC販売が好調、また受託開発が堅調に推移したことから、増収となりました。

一部海外販売子会社で継続している産業用光ディスクドライブは、需要減により減収となりました。

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録再生機器
- 計測機器 トランスデューサー
データレコーダー
- ソリューションビジネス
- 産業用光ドライブ

オリジナルブランド

TEAC

売上収益
14,745 百万円

前期比 6.0%減

その他事業 4.2%

売上収益 621 百万円
(前期比 29.9%減)

セグメント営業利益 47 百万円
(前期比 20.5%増)

- EMS 事業

要約連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	当期 2020年 3月31日 現在	前期 2019年 3月31日 現在
■ 資産		
流動資産	7,052	7,413
現金及び現金同等物	1,479	1,716
営業債権及び その他の債権	3,218	3,265
棚卸資産	2,081	2,079
その他の流動資産	274	353
非流動資産	2,488	1,904
有形固定資産	2,099	1,346
無形資産	159	209
その他の投資	6	131
繰延税金資産	41	29
その他の金融資産	152	152
その他の非流動資産	30	37
資産合計	9,540	9,316

Point 1 連結財政状態計算書

＜資産合計＞ 有形固定資産の増加754百万円、現金及び現金同等物の減少238百万円、その他の投資の減少124百万円となり前期末と比較し224百万円増加となりました。

＜負債合計＞ リース負債の増加857百万円、その他の流動負債の減少106百万円、退職給付に係る負債の減少596百万円となり、前期末と比較し126百万円増加となりました。

＜資本合計＞ 為替の円安に伴う在外営業活動体の換算差額の増加によるその他の資本構成要素の減少210百万円、退職給付の再測定から発生した利益剰余金の増加225百万円等により、前期末と比較し、97百万円増加となりました。

Point 2 連結損益計算書

＜売上収益＞ 為替相場の変動の影響、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、売上収益は前期末に比べ6.0%減少となりました。

＜営業利益＞ 前期は介護記録システム事業の譲渡益があったことから、前期末に比べ、52.4%減少となりました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞ 当期における主な内訳は、プラス要因として、減価償却費及び償却費の増加550百万円、マイナス要因として、退職給付に係る負債の減少386百万円です。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞ 当期における主な内訳は、プラス要因として売却可能金融資産の売却による収入100百万円、マイナス要因として有形固定資産の取得による支出234百万円です。

(単位：百万円)

	当期 2020年 3月31日 現在	前期 2019年 3月31日 現在
■ 負債		
流動負債	5,499	5,099
借入金等	2,802	2,522
リース負債	336	0
営業債務及びその他の債務	880	880
引当金	596	591
未払法人所得税	41	156
その他の流動負債	845	951
非流動負債	2,623	2,898
借入金等	51	234
リース負債	520	0
退職給付に係る負債	1,989	2,585
引当金	41	41
繰延税金負債	9	9
その他の非流動負債	13	29
負債合計	8,123	7,996
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	1,323	1,145
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	36	0
自己株式	△121	△121
利益剰余金	1,158	806
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△3,430	△3,430
その他の資本の構成要素	181	391
非支配持分	94	174
資本合計	1,417	1,320
負債及び資本合計	9,540	9,316

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2019年4月1日～ 2020年3月31日	前期 2018年4月1日～ 2019年3月31日
売上収益	14,745	15,682
売上原価	8,272	9,033
売上総利益	6,473	6,649
販売費及び一般管理費	6,225	6,278
その他の損益	38	△3
個別開示項目前営業利益	286	367
個別開示項目	0	234
営業利益	286	601
金融収益	4	5
金融費用	222	316
税引前当期利益	69	291
法人所得税費用	37	152
当期利益	32	139
当期利益の帰属先		
親会社の所有者持分	27	51
非支配持分	5	88

要約連結持分変動計算書 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	その他の資本の構成要素	合計		
当期首残高	3,500	—	△121	806	△3,430	391	1,145	174	1,320
当期包括利益									
当期利益				27			27	5	32
その他の包括利益						115	115		115
当期包括利益合計	—	—	—	27	—	115	142	5	147
所有者との取引等									
減資								—	—
欠損補填								—	—
利益剰余金から資本剰余金への振替								—	—
自己株式の取得			△0				△0		△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				325		△325	—		—
連結子会社に対する所有者持分の変動		36					36	△85	△49
所有者との取引等計	—	36	△0	325	—	△325	36	△85	△49
当期末残高	3,500	36	△121	1,158	△3,430	181	1,323	94	1,417

*連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

要約貸借対照表

(単位：百万円)

	当期 2020年3月31日 現在
■ 資産の部	
流動資産	4,619
現金及び預金	1,081
受取手形	347
売掛金	1,452
商品	673
原材料	456
前払費用	142
関係会社短期貸付金	195
未収入金	258
その他	31
貸倒引当金	△ 19
固定資産	8,064
有形固定資産	1,561
無形固定資産	62
投資その他の資産	6,440
資産合計	12,684

(単位：百万円)

	当期 2020年3月31日 現在
■ 負債の部	
流動負債	7,053
支払手形	310
買掛金	241
短期借入金	2,510
関係会社短期借入金	3,052
1年内返済予定の長期借入金	132
リース債務	4
未払金	198
未払費用	141
未払法人税等	68
前受金	103
預り金	19
賞与引当金	118
製品保証引当金	38
返品調整引当金	38
未払消費税等	75
その他	0
固定負債	2,184
負債合計	9,237
■ 純資産の部	
株主資本	3,446
資本金	3,500
資本剰余金	54
利益剰余金	13
自己株式	△ 121
評価・換算差額等	0
純資産合計	3,446
負債及び純資産合計	12,684

要約損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2019年4月1日～ 2020年3月31日
売上高	9,666
売上原価	5,632
返品調整引当金繰入額	△ 12
売上総利益	4,047
販売費及び一般管理費	4,130
営業損失 (△)	△ 83
営業外収益	193
営業外費用	194
経常損失 (△)	△ 83
特別利益	100
特別損失	24
税引前当期純損失 (△)	△ 7
法人税、住民税及び事業税	△ 0
当期純損失 (△)	△ 7

要約株主資本等変動計算書 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等 その他 有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 その他 資本剰余金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	自己株式			
当期首残高	3,500	54	20	△ 120	3,453	—	3,453
当期変動額							
当期純損失 (△)			△ 7		△ 7		△ 7
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						—	—
当期変動額合計	—	—	△ 7	△ 0	△ 7	—	△ 7
当期末残高	3,500	54	13	△ 121	3,446	—	3,446

※ 単体財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



BD-MP1



VS-R265/VS-R264

TASCAM.

ブルーレイ/マルチメディアプレイヤー

BD-MP1

AV Over IP エンコーダー / デコーダー

VS-R265/VS-R264

TASCAMブランドは商品ラインナップに音響機器のみならず映像関連製品を拡充することで市場関係者の皆様にワンストップでソリューションを提供してまいります。

2019年10月に発表された『BD-MP1』はブルーレイやDVD、CD、SDカード、USBメモリの再生が可能なマルチメディアプレイヤーです。商業施設や文教施設、美術館、博物館、バンケットルーム、劇場など様々な場所でのコンテンツ再生に対応するものです。

2020年1月に発売されたライブストリーミング用AV Over IP エンコーダー / デコーダー『VS-R265』および『VS-R264』はライブパフォーマンスの配信やオンライントレーニングシステム、さらにはデジタルサイネージシステムやビデオ会議システムにおける動画のエンコード / デコードなど様々な用途で使用いただける映像関連製品となっています。

製品は市場関係者の皆様からご好評いただき、導入の実績も着実に増えています。



TN-3B



TEAC

ダイレクトドライブ・ターンテーブル

TN-4D

ベルトドライブ・ターンテーブル

TN-3B

ダイレクトドライブターンテーブル『TN-4D』と、ベルトドライブターンテーブルの『TN-3B』が、音元出版様主催で実施されました「アナロググランプリ2020」において、アナロググランプリ賞を受賞しました。

また、「VGP 2020」においてもライフスタイル賞を受賞しました。これら新製品は日本での人気はもちろん、海外においても好評をいただいております。

ティアックではレコードだけでなく、ハイレゾ音源など、幅広い音楽ソースを楽しんでいただけるような製品開発に今後も努めてまいります。



K-01XD

ESOTERIC

Super Audio CD/CD Player

K-01XD/K-03XD

2020年3月に『K-01/K-03』の新しいXDエディションを販売開始いたしました。一体型デジタルプレーヤー『K-01/K-03』は登場以来、その類まれなる音楽再生能力が高く評価され数多くの賞を受賞。世界中でデジタルプレーヤーのリファレンス機としての地位を不動のものとししました。

更なる進化を果たした「XD」エディションは、機構部の高い完成度を誇る『VRDS-ATLAS』スーパーオーディオCDトランスポートメカニズムとプライドを賭けた完全自社設計の『Master Sound Discrete DAC』という、フラッグシップGrandiosoの開発で培った2つの新技術を纏い、音楽再生能力に更なる磨きがかかりました。

交響曲のクライマックスをスリリングに描く驚異的なダイナミックレンジと解像力。音楽の繊細なディテールを表情豊かに描き分ける音色の多彩さ。シルクのように滑らかなアリアから、エッジの効いたロックまで、実に様々なジャンルに適応する柔軟性。

音楽愛好家を虜にしてきた、ゆるぎない銘機の血統が生み出すサウンドを心ゆくまでお楽しみください。

TEAC

カラーグラフィックデジタル指示計

TD-9000T

2020年1月より販売開始した『TD-9000T』は、荷重(ロードセル)とストローク(変位計)の2入力に対応した荷重管理用デジタル指示計です。

24bit,25kHzの高速A/D変換、4.3型タッチパネルモニターを搭載、直感的な操作性と優れた視認性を実現しています。

自動車部品やモーター、電子部品の組立に用いられるプレス・圧入装置に不可欠な良・否判定機能やデータ記録機能を標準搭載し、データの記録にはSDHCカードメディアに加え、本体メモリにも記録できることで、指示計本体でデータ解析や統計管理も行えます。

ロードセルの断線検出機能やオーバーロード、制御入出力のチェック機能など、各種診断機能も充実、TEDS規格に対応し、ティアックのTEDS対応ロードセルと組み合わせると、接続するだけで自動的に感度校正も行えます。

これからも、現場の期待に応えることが出来る製品を提供していきます。

会社の概要

商号 ティアック株式会社
(TEAC CORPORATION)
本社 〒206-8530
東京都多摩市落合一丁目47番地
設立 1953年8月26日
資本金 35億円
事業年度 4月1日～翌年3月31日
代表者 代表取締役社長 英 裕治
従業員数 単体242名 連結633名

●国内拠点

ティアック株式会社
本社 [東京都]
EMCセンター [埼玉県]
大阪営業所 [大阪府]
名古屋営業所 [愛知県]
エソテリック株式会社 [東京都]
ティアック マニュファクチャリングソリューションズ株式会社 [東京都]
ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]
ティアックオンキヨーソリューションズ株式会社 [東京都]

●海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]
TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]
TEAC UK LTD. [英国]
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]



■仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。 ■製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。 ■記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

役員 (2020年6月19日現在)

代表取締役社長 英 裕治
取締役 野村 佳秀
取締役(監査等委員) 吉村 邦彦
取締役(監査等委員) 原 琢己
取締役(監査等委員) 坂口 洋二

株式の状況

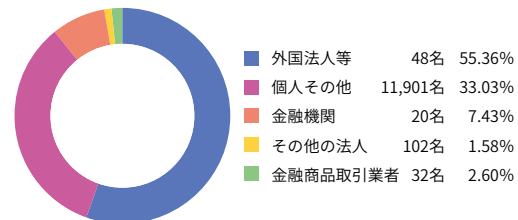
発行可能株式総数 …… 40,000,000 株
発行済株式の総数 …… 28,809,467 株
(自己株式 122,246 株を除く)
株主数 …………… 12,103 名

大株主 (上位10名)

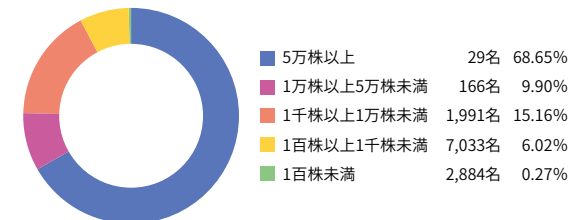
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
Gibson Holdings, Inc.	15,745	54.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	507	1.76
株式会社三菱UFJ銀行	343	1.19
オンキヨー株式会社	289	1.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	288	1.00
楽天証券株式会社	260	0.90
佐野 弘長	214	0.74
東京海上日動火災保険株式会社	201	0.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	185	0.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口2)	136	0.47

(注) 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。
(注) 持株比率は、自己株式(122,246株)を控除して計算しております。

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
東京証券取引所市場第一部
上場証券取引所
公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【株式事務に関するご案内】

1. 各種手続きのお問合せ窓口について
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きについて
特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料(注)としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。
(注) 無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

- 証券会社等の口座で所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座で所有の株主様
(証券会社等にお取引口座がない株主様)
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (TEL 0120-232-711 (通話料無料))にお問合せください。



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100 (代表)
ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>